

平成28年度 地方創生交付金事業評価

平成29年6月6日南丹市地域創生会議

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
1	1	ふるさと農業創生支援事業 (農政課)	① 4名 ② 3名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習会や地元調整等を通じて、農家民宿等を活用した農山村教育体験受入に積極的に取り組んでいる。また、これらを通して、農家民宿とおしの連携など、地域ぐるみで都市住民を受け入れる体制も整っている。開業数は目標値に達成していないが、相談件数は増加傾向にあり、府市連携により、さらなる増加が期待できる。 ・ 農家民宿、農家レストランには期待したいが、雇用できる人数は少ない。また、できれば勉強会、交流会、体験は私費で自主的にやってほしい。 ・ 指標値設定時の13に既存の民宿は何軒あったのか。 ・ 昨年度HPのアクセス数のK P Iがあったが今年度はないのか。 ・ 台湾の教育旅行の受皿として活躍している。 ・ 都市部に近いメリットを生かし、気軽に足を運んでもらい、農業や南丹市の魅力を体験してもらえ点で有効と考える。体験を移住者や農業従事者の増加につなげる施策の充実にも期待する。 ・ 農家民宿開業数が11件（85%）であり、一定の成果が見られている。 ・ 農山村教育民泊や、農家民宿の拡充に期待している。引き続き、情報発信を推進されると共に、体験民泊の受け入れ家庭の拡大に努めていく必要があると考える。 ・ 民宿開業については、（近隣）地域に集客し年間通じ観光客等が来る地域でないと開放しても採算が合う経営は無理である。

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
1	2	創業支援事業 (商工観光課)	① 0名 ② 1名 ③ 3名 ④ 2名 ⑤ 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・創業は、地域経済の活性化、雇用の創出に大きな役割を果たすことから、「新たなしごとの創出」にチャレンジしようとする方を積極的に支援することは、有意義な取組である。直ちに創業には結びつかなくとも、創業機運の醸成や潜在的な創業希望者の掘り起こしといった観点からも事業の有効性は高く、今後の成果に期待したい。 ・創業セミナーに意味（効果）はあるはずだが、結果がでていない。こまかいことを教えるこのプログラムに人を導き、その気にさせる説明会等が必要だった。 ・実績値は0であるが、必要。NPOや、創業とまではいかないが、始業されているのではないか。 ・創業支援の取組は必要と考えるが、実績値がゼロになった背景の分析が必要。3名の受講者が期待できるのかが、継続の判断目安となるように思う。 ・現状成果が見られず、判断できない。 ・創業セミナー開催数（計6回）に対して、受講者数が少ない。仕事の間を創出することは、地域経済の活性化となることから、起業を志す者、受講者を増やす努力が必要。引き続き、情報発信を推進されたい。 ・必要ない。
1	3	むら・ひと・しごと創生事業 (定住・企画戦略課)	① 3名 ② 0名 ③ 2名 ④ 3名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・「新たなしごとの創出」は、地域経済の活性化、雇用の創出に大きな役割を果たすものである。地元が主体性を持ちながら、地域固有の資源を活かした取組を推進することは、地域の活性化のために有効なものであり、今後の成果に期待したい。 ・3つの取組、各々の参加者数が不明な上、金額も大きいので厳しい評価とした。 ・色々とヒントを与えてくれる取組みに期待する。 ・過疎に悩む地区にとって非常に有効な事業と考える。すぐ結果が出る事業ではないが、継続することで基盤ができれば、多様な効果につながると思う。 ・事業自体は、有益なものであるが、事業費に対して現状の成果は低く、十分とは言えない。 ・基盤整備ができたことは評価する。引き続き、起業や若者の定住促進に向け、新たなしごと創出に向け期待したい。 ・農業新規就農等に重点を集約し、これらは必要なし。

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
1	4	南丹市販路開拓支援事業 (商工観光課)	① 7名 ② 0名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル競争が激化する中、製造業を営む事業者の経営の安定、持続的な発展のためには、新たな需要を開拓していくことが不可欠であり、その取組を支援する重要性は高い。 ・新規取引先の獲得で大きな成果をあげているので。ただし、従来と比較して増えたか、この交付金のおかげで出展したのがいくつあるかが本来の評価ポイントである。 ・支援件数からしても、予算規模が少ない。 ・企業育成と雇用拡大に有効と考える。ただ、企業側の努力もあわせて求めることで効果が広がると思う。 ・新規取引先の獲得に十分な成果が見られた。 ・新規取引先の獲得数は大いに評価できる。引き続き、出展を後押しする必要性有り。 ・南丹市の人口増にどれだけの効果があるのか。(交付金に見合う効果)
2	5	Uターン就職等支援事業 (定住・企画戦略課)	① 4名 ② 2名 ③ 2名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・「学生に地元企業を案内したいが、どのような企業があるのかを知らないし、知るためのツールもない」といった声を踏まえ、独創的なオンリーワン技術を有している企業、ワークライフバランスが実現できる企業など、地元企業の持つ魅力を求職者に知ってもらう取組を行うことは、地域へひとの流れを創出していく上で有効であり、今後の成果に期待したい。 ・就職売り手市場ということもあるが、相談者はいるが事業利用による就職者がゼロなのは厳しい。今後、相談者から就職者はでそうか。でそうでないと④か⑤の評価か。 ・以前から地元企業の求人地元応募が少ない。実績は0だ、地元にある企業をもっと知ってもらうことが必要。 ・ふるさと企業を知る機会は、学生などには少ないのではないかと。一般の就職フェアでは、Uターン者を増やす効果につながらない現状を考えると有効と考える。ふるさと企業で働き、ふるさとで暮らすメリットを体験談などで伝えることも大切と思う。 ・就職マッチング相談者数は172%で十分な成果が見られたが、就職者数の把握ができていない。 ・働き手不足は深刻な問題であることから、地元企業の魅力を最大限、発信していく必要がある。地域の高校、専門学校、大学と連携し、地域の企業に就職を希望する若者を増やすことが、移住・定住につながる。 ・事業費に伴う効果に問題。

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
	2	6	定住促進サポート事業 (定住・企画戦略課)	<ul style="list-style-type: none"> ・定住促進サポートセンターを中心に、移住希望者が持つ様々な課題に、一元的に対応する体制が構築出来ており、また、府が設置している移住コンシェルジュや地域団体等と連携して、移住希望者の現地案内にもきめ細やかに対応している。 ・都会に近い京都丹波地域の魅力を最大限に発揮するため、近隣市町との連携にも積極的取り組んでいる。 ・よい結果がでている。すばらしい。集落の教科書は1つだけだがもっと増やす必要があるのではないか。 ・キーパーソン団体に、美山ふるさと株式会社も含まれるのではないか。 ・効果が出ており、有効と考える。移住・定住を考える人にとって地域にアクセスする窓口は必要である。地域（住民）の受入意識を高めることも欠かせないと思う。 ・空き家活用件数も、移住相談件数も十分な成果が見られた。 ・定住促進サポートセンターの設置により、定住・移住が促進されることを期待する。 ・自然豊かな環境を前面に、より情報発信を行い続けることが必要である。 ・空き家活動による農村地域の定住、新規就農支援策を確立し推進すべき。
	2	7	森の京都シティプロモーション事業 (定住・企画戦略課)	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者や地域団体など市民協働による動画作成など、南丹市の魅力を都市住民に分かりやすく伝える努力が認められる。また、対外的な情報発信による移住者の増だけでなく、在住者の愛着を醸成し、定住促進につながる効果が期待できる。 ・KPIの結果はでているが、この事業の結果、移住した人はまだ少ないのではないか。どちらにせよ必要な取組ではある。 ・キャッチコピー、ロゴマークがまだ知られていない。（良く電話で丹南市と言われる。） ・どのように南丹市を発信するかは、選ばれるまちになるため、重要である。ただ（6）にあるように定住促進施策との連携が重要と考える。今後の効果拡大に期待する。 ・十分な成果が見られた。 ・市がもつ魅力は常に広く発信させていくことが重要。知名度の向上は、交流人口の増加につながる。 ・事業を集約し、重点政策を明確にすべき。（3事業とも事業費の効果に問題）

「地域創生戦略のK P I 達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
2	8	観光イベント振興事業 (商工観光課)	① 4名 ② 3名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・観光は、成長性が高い分野であり、またその効果が幅広い産業に波及することから、地域の文化・歴史・食等の魅力を発信し、観光客を集客し、交流人口の拡大を図ることは地域の活性化を図るうえで重要である。 ・3つのイベントで、2つのK P I について立派な結果を出している。ただし、従来からあったイベントなので、この交付金のおかげで増えた人数が本来、ポイントである。 ・外国人の宿泊は増えている。このイベントの参加に外国人参加は増えているのか。 ・多くの人々が訪れることから南丹市のアピールにつながっていると思うが、イベント目当てでなく、リピーター増につながっているのかがわからない。分析は難しいと思うが、参考データとして示してほしい。 ・十分な成果は見られたが、どの程度寄与したのかという判断が難しい。 ・減少傾向にある地域の花火大会開催に於いては、「南丹市花火大会」が盛大に開催されていることに評価する。継続した開催に努めて頂きたいと考える。郷土愛を感じられる観光イベントは今後も、必要である。 ・恒年のイベントの実施であり人口増に効果は疑問。 ・事業について交付金を消化した事業でもっと南丹市の新たな集約事業を立案し、効果的な交付金の活用を望む。
2	9	観光宣伝事業 (商工観光課)	① 6名 ② 1名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・京都縦貫自動車道の全線開通及びインバウンドブームといった機会をとらえ、観光プロモーションを積極的に行い、地域の魅力等をPRすることは、国内外からの誘客促進や、地域ブランド力の向上につながるものである。 ・K P I を達成しており立派。この交付金のおかげで増えた人数が分かれば、より正確な評価ができる。 ・観光入込客数の増加につながっていることは評価したいが、全市域への波及効果につなげることや「森の京都」イベント終了で注目度が下がる中、どう魅力を発信し、今後につなげるかも重要である。 ・十分な成果は見られたが、どの程度寄与したのかという判断が難しい。 ・市の活性化には、観光産業がまちづくり事業と一体となり連携することが必要。情報発信を強化する一方、魅力ある観光地を形成していく為にも、交通手段を適切に提供することも必要である。 ・事業目的に対する効果に問題。 ・事業について交付金を消化した事業でもっと南丹市の新たな集約事業を立案し、効果的な交付金の活用を望む。

「地域創生戦略のK P I 達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
2	10	観光宣伝事業 (商工観光課)	① 5名 ② 1名 ③ 1名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域において、充実した「おもてなし」体制の構築を図ることは、国内外からの観光客の満足度を高めること、地域内に長く滞在してもらうこと、地域での消費を促進すること、観光客のリピータ化を促進すること等のために重要である。 ・K P I を達成しており立派。この交付金のおかげで増えた人数が分かれば、より正確な評価ができる。 ・車内案内なども含めて、市営バスの観光客の利便性を高めて欲しい。 ・「外国人に情報発信できた」とあるが、どのような点でそのように評価しているのかも示してほしい。情報入手手段も多様化しているので、看板の効果がどれほどあるのかを知りたい。 ・情報発信ができ、一定の成果も見られたが、どの程度寄与したのかという判断が難しい。 ・引き続き、外国人観光客に対し分かりやすい案内に努められたい。(標識を含め)、一方、外国人観光客に対する、マナーと秩序の改善に取り組まれない。 ・南丹市の人口増に対する効果、成果には期待できない。(事業費の効果について考えるべし) ・事業について交付金を消化した事業でもっと南丹市の新たな集約事業を立案し、効果的な交付金の活用を望む。
2	11	観光協会事業 (商工観光課)	① 5名 ② 2名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域において、充実した「おもてなし」体制の構築を図ることは、国内外からの観光客の満足度を高めること、地域内に長く滞在してもらうこと、地域での消費を促進すること、観光客のリピータ化を促進すること等のために重要である。 ・K P I を達成しており立派。この交付金のおかげで増えた人数が分かれば、より正確な評価ができる。 ・観光協会の取組みに温度差がある。 ・協会および事業の支援は必要と考えるが、事業や運営面で毎年、効果を高める工夫や取組も必要では(やっているのかもしれないが、それが伝わってこない)。 ・情報発信ができ、一定の成果も見られたが、どの程度寄与したのかという判断が難しい。 ・観光地としての知名度の向上に期待する。 ・南丹市の人口増に対する効果、成果には期待できない。(事業費の効果について考えるべし) ・事業について交付金を消化した事業でもっと南丹市の新たな集約事業を立案し、効果的な交付金の活用を望む。

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
2	12	観光動態調査事業 (商工観光課)	① 5名 ② 2名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の観光戦略の策定、地域ブランド力の形成を図るうえで、地域を取り巻く現状を分析するとともに、生の声を把握することが重要である。 ・KPIを達成しており立派。この交付金のおかげで増えた人数が分かれば、より正確な評価ができる。 ・動態調査の投資事業費と効果のバランスが疑問。スマートフォン（アプリ）利用していない客も多い。 ・スマートフォンを使った新たな取組として期待したい。 ・動態の調査ができ、一定の成果も見られたが、分析結果を今後どのように活用するのか不明。 ・各種イベントの広報周知を一層図ることが必要。 ・Wi-fi環境の整備にも努められたい。 ・南丹市の人口増に対する効果、成果には期待できない。（事業費の効果について考えるべし） ・事業について交付金を消化した事業でもっと南丹市の新たな集約事業を立案し、効果的な交付金の活用を望む。
2	13	観光拠点整備事業 (商工観光課)	① 3名 ② 3名 ③ 1名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域において、充実した「おもてなし」体制の構築を図ることは、国内外からの観光客の満足度を高めること、地域内に長く滞在してもらうこと、地域での消費を促進すること、観光客のリピータ化を促進すること等のために重要である。 ・KPIを達成しており立派。この交付金のおかげで増えた人数が分かれば、より正確な評価ができる。 ・指標値の設定が分からない。 ・改修ができ、一定の成果は見られたが、どの程度寄与したのかという判断が難しい。 ・設備投資は必要。 ・南丹市の人口増に対する効果、成果には期待できない。（事業費の効果について考えるべし） ・事業について交付金を消化した事業でもっと南丹市の新たな集約事業を立案し、効果的な交付金の活用を望む。

「地域創生戦略のK P I 達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
2	14	山陰本線南丹市広告宣伝事業 (地域振興課)	① 3名 ② 2名 ③ 2名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・観光プロモーションを積極的に行い、地域の魅力等をPRすることは、観光客誘客促進、リピータ化の促進につながり、地域経済の活性化に寄与するものである。 ・K P I を達成しており立派。この交付金のおかげで増えた人数が分かれば、より正確な評価ができる。 ・園部駅以北の利用者増にどれだけつながっているのか、が不明。車内広告の効果にも期待したい。 ・広告掲出により認知度は向上しているが、どの程度寄与しているのか判断できない。 ・より多くの広告掲出を検討されたい。 ・南丹市の人口増に対する効果、成果には期待できない。(事業費の効果について考えるべし) ・事業について交付金を消化した事業でもっと南丹市の新たな集約事業を立案し、効果的な交付金の活用を望む。
2	15	各種イベント等開催事業 (日吉支所地域推進課) (美山支所地域推進課)	① 3名 ② 3名 ③ 1名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が主体となって観光イベントを開催し、地域の魅力等をPRすることは、地域にとっても絆づくりにつながるものであり、さらに交流人口の拡大、リピータ化の促進等を通じて地域経済の活性化に寄与するものである。 ・日吉水の杜フェスタについて、イベントは雨により中止とのことだが予算は支出されたのか。支出されたとすると金額も大きいので厳しい評価。 ・参加者の増減が指標値なのではないか。 ・森の京都以降、どのように集客増につなげるのかが問われているように思う。 ・観光客を誘客する事業で「市民に定着、市民のニーズが強い」はおかしい。 ・日吉のイベントは中止で判断できず。 美山のイベントは、成果が見られたが、どの程度寄与したのかという判断が難しい ・定住的に効果はない。 ・事業について交付金を消化した事業でもっと南丹市の新たな集約事業を立案し、効果的な交付金の活用を望む。

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
2	16	スポーツ拠点づくり推進事業 (地域振興課) (美山支所地域推進課)	① 6名 ② 1名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域において、充実した「おもてなし」体制の構築を図ることは、国内外からの観光客の満足度を高めること、地域内に長く滞在してもらうこと、地域での消費を促進すること、観光客のリピータ化を促進すること等のために重要である。 ・トライアスロンで約500人の参加が得られた新しいイベントであり、素晴らしい。この内、市外からの参加は何人か。 ・参加者の増減が指標値なのではないか。 ・スポーツを生かした交流拠点づくりは地域性を反映した取組として期待する。 ・十分な成果が見られたが、どの程度寄与したのかという判断が難しい。 ・事業について交付金を消化した事業でもっと南丹市の新たな集約事業を立案し、効果的な交付金の活用を望む。
3	17	産前・産後サポート事業 (子育て支援課)	① 2名 ② 2名 ③ 4名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・年度後半からの事業実施であり、目標達成度が低くなったが、子育て支援として有益な事業であり、市民に積極的に周知をし、事業継続していただき、今後の成果に期待したい。 ・希望者数も多く、効果的と考えられるが、実施実績が少ない。 ・子育て支援は定住促進ともつながり、重要と考える。 ・年度をまたぎ、実際の訪問に至らない方が多くあった。 ・妊婦訪問の案内、説明を充実させ、更なる相談支援サービスの周知を広げられたい。 相談支援、訪問支援を担える人材の育成にも務められたい。 ・今後も継続してほしい。

「地域創生戦略のK P I 達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
3	18	食育推進事業 (保健医療課)	① 1名 ② 3名 ③ 2名 ④ 2名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容とK P I の関係性がわかりにくい、事業内容は、食育事業として大変有益と考えられ、継続していただきたく、今後の成果に期待したい。 ・実績はまだだが、費用対効果はよいのでは。 ・食育は大切だが、地方創生にどれだけつながるのかが見えてきません。(必要でないといっているわけではない) ・女性起業者数2人は有効と言えないが、授業支援や調理実習は有効と考える。 ・全小学校で実施できる様にしてほしい。 ・基本的に事業を見直すべし。
3	19	実践型人材育成事業 【新商品開発】 (定住・企画戦略課)	① 0名 ② 4名 ③ 2名 ④ 2名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特産物の新たな開発に向けた取組は、地域経済の活性化、雇用の創出に大きな役割を果たすことから、「地域資源を活かした地域ブランドの創出」の取組を積極的に支援することは、有意義なものあり、今後の成果に期待したい。 ・K P I に示された2人の女性起業者が、何をきっかけに起業したかがポイント。説明会自体は意味があると思うが。 ・達成度は40%ですが、受講者が今後の地域づくりや活性化への人材として活躍されることに期待します。 ・一定の成果が見られた。 ・今後も継続してほしい。 ・基本的に事業を見直すべし。

「地域創生戦略のK P I 達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
3	20	実践型人材育成事業 【観光コンシェルジュ】 (美山支所地域推進課)	① 2名 ② 3名 ③ 1名 ④ 2名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域において、充実した「おもてなし」体制の構築を図ることは、国内外からの観光客の満足度を高めること、地域内に長く滞在してもらうこと、地域での消費を促進すること、観光客のリピータ化を促進すること等のために重要であり、今後の成果に期待したい。 ・K P I に示された2人の女性起業家が、何をきっかけに起業したかがポイント。説明会自体は意味があると思うが。 ・来訪者を温かく迎え、地域にいい印象を抱いてもらう人材として充実を期待します。 ・一定の成果が見られた。 ・基本的に事業を見直すべし。
4	21	小学校跡施設利活用推進事業 (地域振興課)	① 5名 ② 2名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校跡地を、バリアフリーの視点を活かして地域振興の拠点として利活用することは有効な取組であり、また、これを運営する地域団体も拠点ごとに設立されており、計画は順調に進んでいる。 ・目標を大きくこえている。 ・ハード面の整備とあわせ、地域住民自らの取り組みも大切考えます。 ・十分な成果が見られた。 ・根本的に事業を見直すべし。

「地域創生戦略のK P I 達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
4	22	障害者就労支援ネットワーク運営事業 (社会福祉課)	① 6名 ② 1名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・ K P I 指標も達成されており、事業効果を上げていると判断します。 ・ 目標を達成している。 ・ 個別単体でやるより受注のボリュームが増える。 ・ すべての市民が安心して暮らせる地域づくりに向け、重要と考えます。ただ、発信方法は関心を高めるため、更なる充実が必要では。 ・ 十分な成果が見られた。 ・ 根本的に事業を見直すべし。
4	23	障害者団体活動支援事業 (社会福祉課)	① 6名 ② 1名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・ K P I 指標も達成されており、事業効果を上げていると判断します。 ・ 目標を達成している。 ・ すべての市民が安心して暮らせる地域づくりに向け、重要と考えます。ただ、発信方法は関心を高めるため、更なる充実が必要では。 ・ 十分な成果が見られた。 ・ 根本的に事業を見直すべし。

「地域創生戦略のK P I 達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
4	24	特別支援教育推進事業 (学校教育課)	① 6名 ② 1名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府教育委員会は「特別支援教育充実事業」を実施。発達障害を含む通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒への支援体制を整備し、効率的・効果的な教育的支援を行っている。（※南丹市実績（H28）市立小中学校4校へ非常勤講師を配置）市事業との相乗効果も高くK P I 指標も達成されており、事業効果を上げていると判断する。 ・目標を達成している。 ・すべての市民が安心して暮らせる地域づくりに向け、重要と考えます。ただ、発信方法は関心を高めるため、更なる充実が必要では。 ・十分な成果が見られた。 ・根本的に事業を見直すべし。
4	25	間伐材出材奨励事業 (農林整備課)	① 7名 ② 0名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・木材価格の低迷が長期化する中、搬出費用助成により、林家の間伐実施の意欲を持続させ、災害に強い森林が整備された。 ・目標を大きくこえて達成しており立派。ただし、この事業の結果なのかどの程度貢献したのか精査できるとよいが。 ・間伐材の搬出量の増減を示して欲しい。（指標値は搬出量です。） ・地域の森を守るため重要と考えます。ただ、補助をすることで、実績だけでなく、持続可能な森づくりに向けた基盤づくりにつながることに期待します。 ・十分な成果が見られた。 ・地方創生の基本目的に交付金額がどれだけ効果があったか。（交付金の無駄遣いがないのか）南丹市の地域森林の保全、森林事業、育成事業等、南丹市の支援策を立案し取り組む必要がある。

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
4	26	森の京都観光事業 (商工観光課)	① 6名 ② 0名 ③ 2名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の満足度を高めることは、域内消費額のアップや、リピーター化の促進につながるものである。観光客の満足度を高めるために、地域において観光客をお迎えする「おもてなし」体制を構築することは、重要なものである。 ・目標を大きくこえて達成しており立派。ただし、この事業の結果なのかどの程度貢献したのか精査できるとよいが。 ・どれくらいの利用実績、来訪者、売り上げ増につながっているのかをデータとともに示してほしい。 ・十分な成果が見られた。 ・地方創生の基本目的に交付金額がどれだけ効果があったか。（交付金の無駄遣いがないのか）南丹市の地域森林の保全、森林事業、育成事業等、南丹市の支援策を立案し取り組む必要がある。
4	27	森の京都推進事業 (定住・企画戦略課)	① 6名 ② 1名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・森の京都ターゲットイヤーに特化した事業として目標を上回る事業を実施され、多くの集客実績があったところであるが、今後も引き続きこうした取組を地域住民とともに行うことにより、地域の活性化につなげていくことを期待したい。 ・目標を大きくこえて達成しており立派。ただし、この事業の結果なのかどの程度貢献したのか精査できるとよいが。 ・「森の京都」後の取り組みにどうつなげていくのかが求められていると思います。 ・十分な成果が見られた。 ・地方創生の基本目的に交付金額がどれだけ効果があったか。（交付金の無駄遣いがないのか）南丹市の地域森林の保全、森林事業、育成事業等、南丹市の支援策を立案し取り組む必要がある。

「地域創生戦略のK P I 達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	番号	事業名	評価	意見等
4	28	森の京都推進事業 (定住・企画戦略課)	① 5名 ② 2名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・森の京都ターゲットイヤー事業として目標を上回る事業を実施され、多くの集客実績があったところであるが、今後も引き続きこうした取組を地域住民とともに行うことにより、交流人口の拡大とともに、地域に魅力を感じた人の定住につながるような取組を期待したい。 ・目標を大きくこえて達成しており立派。ただし、この事業の結果なのかどの程度貢献したのか精査できるとよいが。 ・「森の京都」後の取り組みにどうつなげていくのかが求められていると思います。 ・十分な成果が見られた。 ・地方創生の基本目的に交付金額がどれだけ効果があったか。（交付金の無駄遣いがないのか）南丹市の地域森林の保全、森林事業、育成事業等、南丹市の支援策を立案し取り組む必要がある。